

《学校教育目標》 ○思いやりのある子 ◎自ら学ぶ子 ○たくましい子



校報

あしっこ

令和3年度 8・9月

立川市立第九小学校  
校長 菊池 修  
立川市上砂町2-18-1  
TEL042-536-2231

## 2学期のスタートに向けて

校長 菊池 修

2学期がスタートしました。コロナウィルスの感染状況が夏休み前と比べて信じられないような深刻な状況になってきています。別紙でもお知らせしましたが、2学期の取組についても変更しなければならないことがあります。細かい取組についても変更点が出てきます。学校だよりや学年だより等でお知らせしてまいります。保護者の皆様にはご迷惑をおかけすることが多々ありますが、ご理解とご協力のほどお願いいたします。



今年の夏休みも昨年以上に自粛をしなければならない夏休みでした。家の中にいることが例年以上に多くなったと思います。やはり、この夏休み家にいてしたことは「テレビでオリンピックを観る」でした。私自身、今までのオリンピックの中で一番テレビ観戦をした大会でした。コロナ禍での開催ということで様々な心配もされた大会でしたが、選手の皆さんの中には、「この大会に向けて努力を続けてきたので、まずはこの大会が開催されたことに感謝します。」というコメントが多くありました。状況が大変の中、努力を続けることも大変だったのだなと思いました。もちろん、金メダルを目指して努力を続けてこられたのですが、全ての人が金メダルを獲ることができるわけではありません。練習に練習を重ねても、本番で予想外のミスをしてしまうこともあると思います。世界のトップレベルの大会ですから、並大抵のレベルの戦いではないわけです。

子どもたちが東京で行われたこの大会を観て、どんなことを感じたでしょうか。応援している人が素晴らしい成績を獲ったことのうれしさ、うまくいかなかったことを観ての残念さ、国を超えた人たちのかわりの様子を見ての驚き、トップレベルのスポーツを観戦しての学び、など様々なことを感じ、考えたのではないかと思います。本来であれば、実際に観に行つての応援や、パブリックビューイング等での応援があつて盛り上がりたいところではありましたが、テレビが主となる応援の中で学んだことをもってほしいです。

スポーツは「行う(する)」だけでなく、「観る」「知る」「支える」というかわり方があります。このオリンピックを観て学んだこと、何かのきっかけになるといいです。